

Library

町生涯学習センター図書室からの10月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、またおじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

- 日時 10月10日(木) 午前10時30分～
- 会場 図書室おはなしのへや

社会派ミステリーの神髄！

奥田 英朗 著 / 『罪の轍』



新潮社

小説

東京オリンピックを翌年に控えた昭和38年。浅草で男児誘拐事件が発生し、日本中を恐怖と怒りの渦に叩き込んだ。だが、犯人が求めていたのは大金でも、子どもの命でもなく…。世間から置き去りにされた人間の孤独を、緊迫感のある描写と圧倒的リアリティで描く社会派ミステリーの神髄。心をわしづかみにされる1冊です。

日本点字図書館を創った本間一夫の物語

金治 直美 文 / 『読む喜びをすべての人に』



佼成出版社

児童書

5歳で失明した本間一夫は、成長するにつれ、自分の力で本が読みたいと願うようになる。そして、13歳のときに入学した盲学校で「点字」と出会い、衝撃を受け…。視覚障害者に読書の喜びを伝えようと決意し、戦争や差別という苦境に負けず、国内最大の点字図書館を創り上げるまでの激動の人生を描いた1冊です。

読むとゴミを分別したくなる、エッセイまんが

滝沢 秀一 原作 滝沢 友紀 まんが / 『ゴミ清掃員の日常』



講談社

一般書

本業はゴミ清掃員で、芸人は副業。売れない芸人「マシガンズ」の滝沢は、家族を養うためにゴミ清掃員になった。集積所に出されたゴミを回収する毎日、そこには「ゴミ」を通して見えてきたさまざまな物語があった。おもしろくて、ためになるゴミの知識と、何気ない日々の小さなあわせを、原作者の妻がまんがで描いた1冊です。

三浦百恵さんの美しいキルト作品集

三浦 百恵 著 / 『時間(とき)の花束』



日本ヴォーグ社

教養娯楽

芸能界を引退してから現在までの三十数年間。家庭を守りながら、日々の時間を大切に丁寧に紡ぎながら、愛情豊かにそして真摯に作り続けてきたキルトの作品集です。子どもや家族、友人のために作った微笑ましい作品から、クリエイターとしての斬新な作品まで掲載。エピソードやキルト作りの舞台裏のストーリーも魅力的です。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先 町生涯学習センター図書室 ☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

- 開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

駄 駄菓子屋と言えば、沢山のお菓子が並んでいて色もカラフルで見ているだけでわくわくするお店ですが、私が紹介する駄菓子屋は、必要な人の前にだけ現れる不思議で少し怖くてまた違った雰囲気のある駄菓子屋です。

店主の紅子が売ってお菓子には、使い次第で幸運にも不幸にもなる変わった駄菓子を買う事ができます。

今月の案内人



本田 琉夏さん (糸田区)

中でも私が気に入ったお菓子は、釣った魚が美味しそうなお鯛焼きに変わる「釣り鯛焼き」

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』(廣嶋玲子作)

ふしぎな駄菓子屋で売っているふしぎな駄菓子を持つパワーとは。女主人の紅子が、きょうもお客さんの運命を駄菓子で翻弄する。

というお菓子です。紅子から買ったバケツと釣り竿を使って釣った鯛焼きは色々な大きさや味がありとても面白く私も欲しいと思ったお菓子です。しかし使い方を間違えて指定以外の釣り竿を使ってしまい海の中に引きずり込まれそうになるハラハラドキドキな場面も…

その他にもどんな駄菓子が出て来てそれを手にした人は幸運になるのか不幸になるのか？

ふしぎ駄菓子屋銭天堂をぜひ読んでみてください。

- あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？ 町生涯学習センター図書室 ☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町民大学 第2回町民大学講演会

9月13日(金)町生涯学習センターで、第2回町民大学の講演会を開催しました。

講師は東京甲佐会会長の蜂谷和明さん。「甲佐町と私の陸上人生」と題して講



▲自身の陸上人生を振り返りながら講演する蜂谷さん

演され、多くの参加者が貴重な話に耳を傾けました。蜂谷さんは甲佐高校在学時代に国体出場されたこと

▶自主文化事業のお知らせ

オータムコンサートを開催します

●開催日時

10月11日(金)
午後7時開演

●会場

町生涯学習センター・ホール

●入場料

無料

●出演

熊本のシンガーソングライター
東田 トモヒロ さん

町生涯学習センター自主文化事業として、「東田トモヒロ」オータムコンサートを開催します。ぜひご来場ください。



●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)



や南北縦断熊日駅伝で金栗四三氏から直接頂いた金栗賞のこと、箱根駅伝に4回出場した時のことなど、自身の陸上人生を当時の写真を示しながら語りました。最後に、甲佐中学校陸上部の田仲俊一主将(3年・大町区)が感謝の言葉を述べ、蜂谷さんは握手で応じました。

町公民館出前講座

敬老会でフラダンスを披露

9月16日(月)下田口公民館で、町公民館出前講座として町公民館自主講座「ポハイケアロハ・フラミナミA」(フラダンス教室)の皆さんが、下田口区の敬老会に参加しました。参加者は、敬老会に出席した老人クラブなどの36人



▲出前講座のフラダンスを鑑賞する下田口敬老会の皆さん

を前に、艶やかな衣装でのフラダンスやかすりの着物でのおてもやんの踊りに加えて、熊本弁の寸劇など日

ごろの練習の成果を披露。会場はたくさん拍手と笑い声に包まれ、大いに盛り上がりました。その後、敬老会ではビンゴゲームなどの催しを楽しんだり、手作りのごちそうやお弁当を食べたりしながら、敬老の日の1日を過ごしました。

Human Rights

人権 ~心豊かに暮らすために~

■令和元年度甲佐町就学前人權教育部会第1回研修会を開催

8月24日(土)町生涯学習センター・研修室で、「令和元年度甲佐町就学前人權教育部会第1回研修会」が開催され、町内各保育園、小学校、行政より38人が参加しました。

第1部では、緑川保育園のレポート報告があり、家庭と連携しながら子どもたちの成長を園全体で考え、子どもたちの人権に対するさまざまな支援や取り組みが紹介されました。その後、グループ討議を行い、保育園、小学校、行政とそれぞれの立場

でレポートの内容を深く掘り下げた意見や、幼少期に人権感覚を身に付けていくための大人の役割をもう一度考えるなどさまざまな意見交換がなされました。

第2部では、人権啓発DVDを視聴しました。身近に起こる人権問題に傍観者としてではなく自分のこととして関わる大切さを感じてもらおうと作品で、参加者からは、「『自分の身に振りかからない限り自分事として考えられない』という言葉が印象に残った。自分の行動を考えさせられた」という感想や「大人の行動が子ども達の人権感覚に大きな影響を与

えるので人権問題を自分の事としてとらえる大切さを子ども達に伝えたい」などの意見があり、人権問題を学びあう良い機会となりました。



◀意見を交わす参加者



●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447(内線324)

